

2016年7月4日 日刊建設工業新聞

全員参加で活動

大林道路中国
支店安全大会

大林道路中国支店（右近信介支店長）と同支店安全衛生協力会（長谷川行信会長）は6月27日、広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で安全大会を開き、写真、関係者一丸となって実効性ある安全衛生管理活動

に取り組む、「全員参加の災害ゼロ職場づくり」にまい進することを誓い合った。

支店安全衛生総括責任者の右近支店長は「災害を防止するためには、すべての安全衛生管理者自身が安全意識を高め、日々の安全活動を強力に実行すること、作業員一人一人が基本を守ること



を徹底しなければならぬ」とし、「現場特性を加味した実効性のある安全ルールを策定し、絶対に事故・災害を起こさないという強い意志を持って、全員参加の災害ゼロの職場づくりを推進することをお願いする」と強く求めた。

引き続き、長谷川会長、中央安全衛生委員会の石川洋副委員長が、なお一層の取り組み強化を呼び掛けた後、安全表彰、森本裕章広島中央労働基準監督署長による安全講話を行うなど、安全意識の高揚を図り、災害根絶への決意を新たにした。